

「そうだったのか 在宅医療と訪問看護」

エムイーネット代表鈴木勝章氏が登壇。「在宅医療」は、自宅で医療を受けることであり、医師が診察して診察を行い、看護師やPT・OT・STが訪問していること、この在宅医療は国が進めている。訪問看護は、看護師が医師の指示のもとに訪問する。入院医療は患者だけを診るが、在宅医療では患者の住環境や家族の介護力を見て適切なサポートを行うと述べられた。訪問看護を選ぶには、24時間対応であること、クリニックを選ぶのであればMSWがいるところ、生活全体のサポートをするケアマネージャーが重要であると述べられた。「現状での医療・介護の理解が深まった」「訪問スタッフとの意思の疎通がとても重要と感じた」「具合が悪くなってからの在宅医療ではないことが理解できた」「本講座はスピーカーに質問できる機会があってよい」などの意見が聞かれた。



エムイーネット代表
あすなろ訪問看護ステーション
鈴木勝章

